

小柳よしふみの選挙風景から



街頭にて

たくさんの方の声を聞き、お話をし、握手させていただきました。



個人演説会にて

ご来場いただいた皆さまに、政策と街の未来を語らせていただきました！



街宣車から

地域のあちこちを訪問させていただきました。お騒がせして恐縮です。



街頭演説会にて

多くの皆さまを前に、想いと決意をお伝えしました。



小柳よしふみ 2期目の当選！

開票結果(さいたま市議会議員 浦和区)7人区

氏名	得票数
1 小柳 よしふみ	9,331 当
2 とりうみ 敏行	7,031 当
3 ほあし かずゆき	6,910 当
4 青羽 けんじ	5,396 当
5 やなか 信人	5,100 当
6 そえの ふみ子	5,066 当
7 玉井 哲夫	4,304 当
8 はらだ 健太	4,014 次
9 小林 かずひろ	1,453

低投票率解消のためには、議員の普段の活動の在り方、選挙における問題提起の仕方、投票所の設置の仕方にも工夫が必要です。駅前や大型ショッピングセンターなど身近な投票所の設置や投票しやすい環境への工夫も重要です。ご高齢者などが行きづらい投票所も見られました。今後の課題と考えます。

浦和駅東西通路 北口の利用促進の決議を可決

浦和駅東西通路は開通したが、終電後は通行できない。東西の交流や、駅前交番も東口駅前交番は廃止され、現在は西口だけになっている現状では、地域の安全を考慮しても24時間通行できる体制が望ましい。また、新設される北口改札口も利用時間が制限されている。これらの点に対して、さいたま市からJR東日本に対して要望することを求める決議がなされた。議会意志ははっきりした。行政としてのしっかりとした対応が求められる。

決議文の原文は、小柳よしふみHPを参照

<http://koyanagi.jp/>



小柳よしふみ 検索

みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXで送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ

事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jpホームページ <http://koyanagi.jp/>ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

ご来場をお待ちしております！

第16回市政報告会

浦和パルコ 10F

日時: 平成27年 **5月24日(日)**
18:30~19:45

会場: 浦和コミュニティセンター
第13集会室

入場無料



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2015.5 vol.17

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

さいたま市のさらなる成長へ向けて 1期目の経験を活かし、 充実の2期目へ



風薫る新緑の季節、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

本年は市議会議員の改選期にあたり、4月12日投開票で統一地方選挙が行われました。小柳よしふみは、9,331票で浦和区において第1位の得票により当選させていただきました。多くのご期待を頂いたことに感謝するとともに、今後の励みと戒めとしてまいります。1期4年で学んだことを活かして、さらなる充実の2期目を務めたいと決意を新たに致しております。さいたま市民の幸せと、今後の市政発展のために何が重要なのかということ突き詰めて、これからも活動してまいります。

また、さいたま市の平成27年度も新執行部体制の下、スタートしております。本レポートにおきましては、平成27年度予算や今年から始まるさいたま国際マラソン、発行予定となっているプレミアム商品券に関してもご紹介をさせていただきました。平成27年度予算の特徴や各事業の目的をしっかりと精査した上で、他の施策との連携や、相乗効果によって更なる事業効果の実現を考えていきます。議員としてのチェック機能を果たすとともに、有益な提案ができるよう尽力してまいります所存です。

小柳よしふみの活動に、今後どうぞご期待ください。



浦和っ子

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- 保健福祉委員会、予算委員会 理事



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

1 平成27年度予算成立

TOPICS

総予算9,008億円、一般会計予算4,560億円で前年度とほぼ同規模となった。「教育」「健康・スポーツ」「環境」など、本市の強みや可能性に重点配分した内容。2月補正予算においては、プレミアム商品券の発行も決まった。(詳細中面)

2 さいたま市議会議員選挙の投票率は、40.39%

TOPICS

前回より3.9%下回り、過去最低を更新。浦和区では、40.86%。県議選(さいたま市)は41.11%。また、市議選では北区、県議選では西区、北区、中央区、南区で無投票となり、低投票率と合わせて民主主義の危機ともいえる状況が進行している。(関連裏面)

3 第1回さいたま国際マラソンの開催決定

TOPICS

オリンピック女子マラソン代表選考会を兼ねたもの。出場資格は、招待選手、4時間以内で完走できる男女など。一般参加者は、3km、小学5、6年生対象の1.5km、親子ファンランの部となり、これまでのハーフの部はない。11月15日(日)開催。

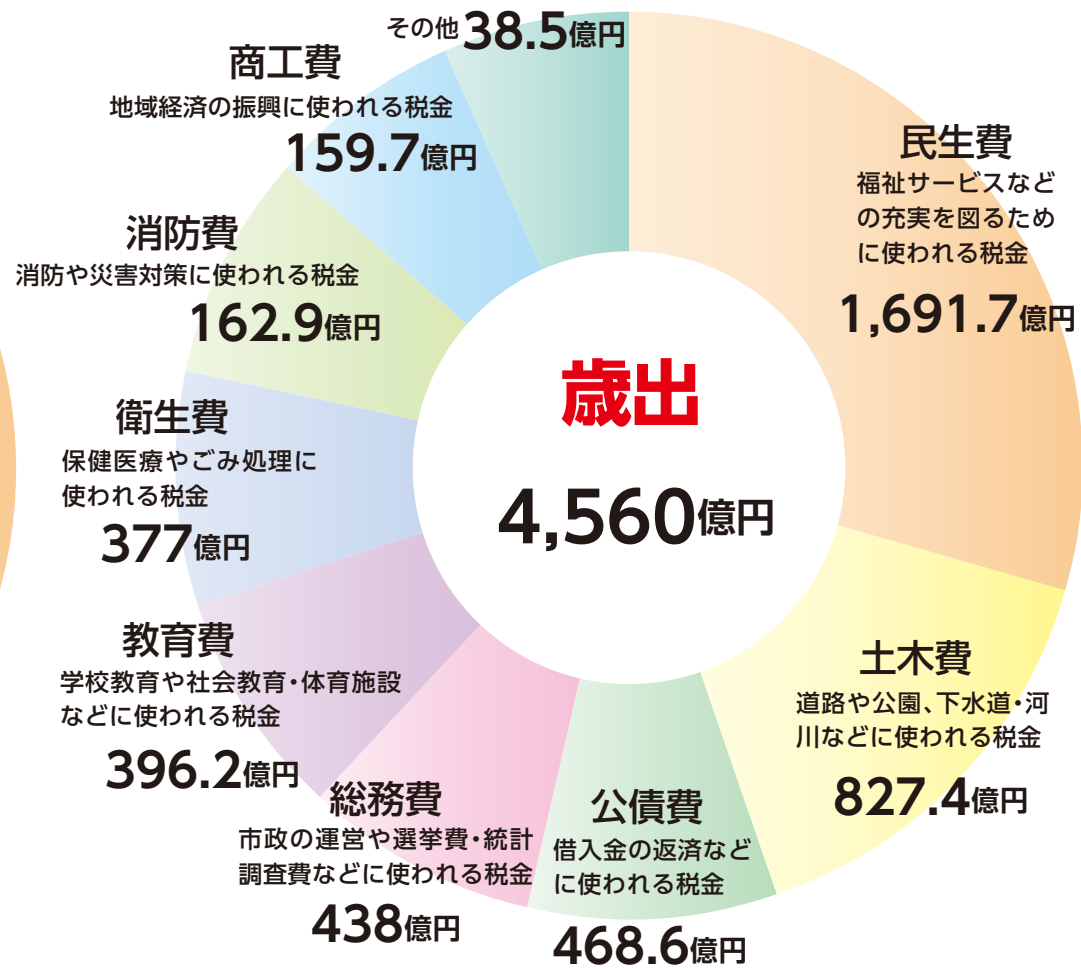
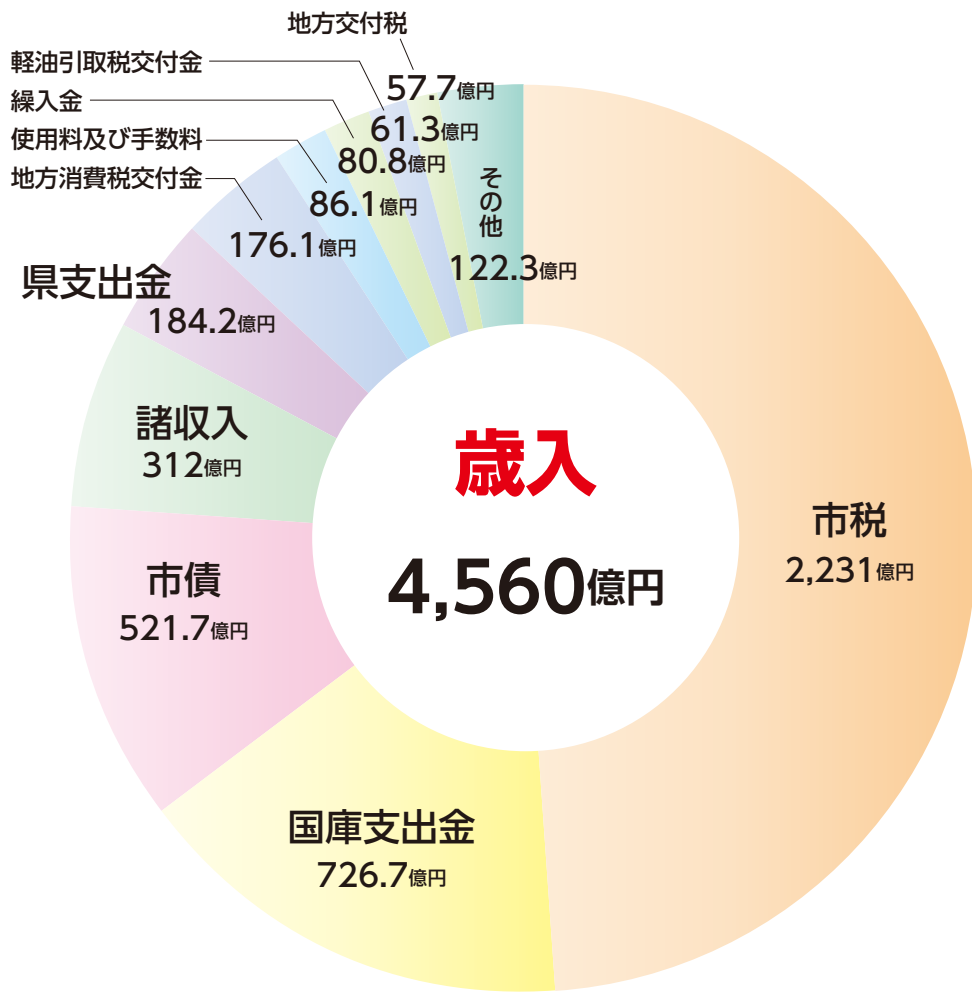
4 北陸新幹線 金沢まで開業

TOPICS

3月14日より北陸新幹線が開業。大宮-金沢が直結し最短2時間4分となる。これにより北陸地域が関東圏からアクセスしやすいエリアとなる。さらに、さいたま市としては、新幹線の大宮駅始発へ向けた働きかけも行っていく。

さいたま市平成27年度予算

一般会計予算



※区分ごとに切り捨てるため各数値の合計と合計額が一致しません。

福祉や教育、公園や道路の整備に使われる予算は…	一般会計	4,560億円
国保や介護保険など特定の収入がある事業は…	特別会計	3,233億円
病院・上下水道事業は…	企業会計	1,215億円
	合計	9,008億円

前年度比
+0.2%

小柳よしふみの視点

全国的に少子高齢化・人口減少社会が進み、低成長時代が予想される中、都市間競争の時代になっている。「選ばれる都市」となるには、本市の魅力が何で、どんな人にどういう理由で選ばれるのかを想定した施策展開が必要。財政状況は、比較的良好と言える状況であるが、受益者と負担者を意識して、過度な負担を将来へ付け回さないことが大事。

補正予算から

プレミアム商品券の発行事業

県予算で10%、市予算で20% 計30%のプレミアムが付き、13,000円の買い物ができる商品券を10,000円で販売。発行総数36万冊。商工会議所が発行主体となり、夏ごろの発売を予定し使用期限は年内の見込み。多子家庭への優先購入枠も検討中。

まちづくり委員会から

公園の遊具の設置の考え方 公園情報の発信の在り方について

Q 公園遊具の選定の基準について、市としての考えはあるのか？
公園の遊具や施設の情報発信ができていない。HPから検索できるような情報発信の体制が必要なのではないか？



A 市としての基本的な考え方を取りまとめたうえで、遊具の選定について地元協議を進めている。
公園情報の発信については、公園利用者の求める情報ニーズを把握して、他市の状況も参考にして情報発信について検討する。

小柳の視点 いろんな人の意見を聞きすぎると総花的になり、特徴のない楽しめない公園になりがちである。特に、子育ての楽しみを増やすためにも、個性のある公園と情報発信が求められる。

※その他、本太地区(藤右衛門側流域)や前地地区の浸水被害対策について、質疑を実施。

平成27年度予算の主要事業

- ・「教育」「健康・スポーツ」「環境」など、本市の強みや可能性に重点配分
- ・「交通網の充実」「災害への強さ」という特長を生かした施策の推進

1 待機児童対策の充実

- ◎待機児童対策の推進
民間認可保育所の新設(8施設、定員640人)
増改築(2施設、定員50人)
賃貸物件による整備(3施設、定員200人)
認定こども園の設置(2施設定員230人)
放課後児童クラブ受け入れ数の拡充
- ◎「幼児未来部」と「のびのび安心子育て課」の設置
待機児童解消や「子ども・子育て支援新制度」への対応強化



2 英語教育の強化

- ◎平成27年度にモデル校を設定し、小1・2年生にも英語の授業を実施
- ◎外国語指導助手(ALT)の配置、教員研修の充実
- ◎市立大宮西高校の国際バカロレアの認定に向けた取り組みを開始



3 環境未来都市へ向けた取り組み

- ◎市立学校72校に太陽光発電設備及び蓄電池の設置
- ◎水素エネルギーステーションの整備や燃料電池自動車導入補助制度の創設
- ◎産学連携によりスマートシティモデルの構築



4 健幸サポート事業

- ◎健康寿命は、浜松市、静岡市に次いで指定都市3位
- ◎楽しく歩きながら健康づくりができる取り組みの推進
- ◎(仮)がん対策基本計画の策定

5 自転車・スポーツを活用したまちづくり

- ◎コミュニティサイクルの地域拡大やレクリエーションルートの策定を検討
- ◎さいたまクリテリウム等による地域経済の活性化と自転車文化の醸成
- ◎国際女子マラソンの開催と市民マラソンのフルマラソン化



6 健康長寿日本一へ向けた取り組み

- ◎「いきいき長寿推進課」を設置
介護予防や認知症高齢者支援等、地域包括ケアシステムの構築に向けた体制強化
- ◎医療や健康の情報化、施策効果の分析、検証の推進



7 防災都市づくりの進展

- ◎地震防災対策強化
・緊急輸送道路閉塞建築物等の耐震化への助成を拡大
・避難所となる学校体育館等の非構造部材の耐震化(天井や電燈などの落下を防ぐ等)やバリアフリー化の推進
- ◎防災ガイドブックを全戸配布



8 地域経済の活性化

- ◎プロスポーツチームと連携した商業活性化事業
- ◎「食」のブランド化による観光客拡大と地域経済の活性化
- ◎女性・若年者の就業支援事業